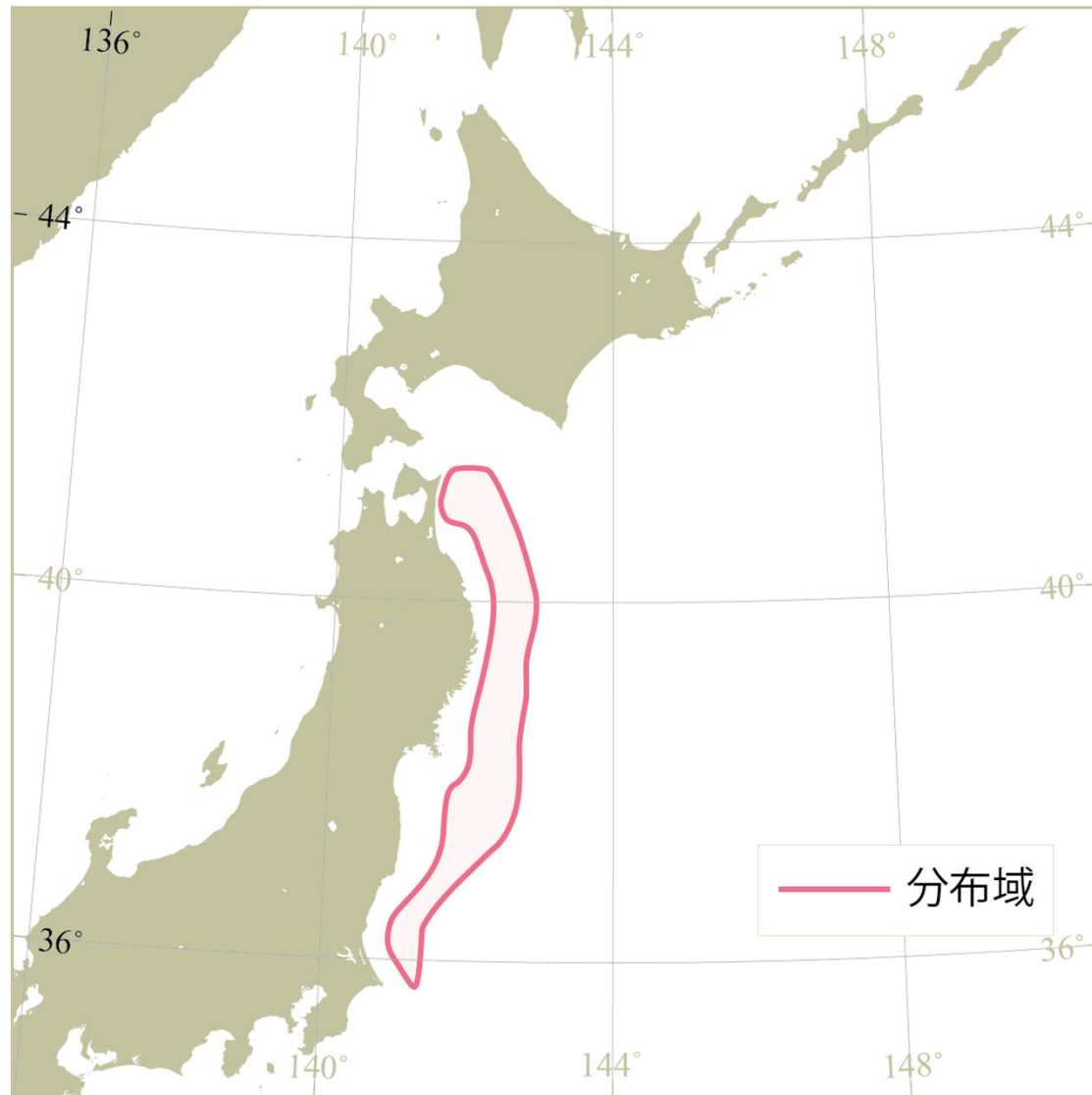




# キチジ太平洋北部 令和6年度資源評価結果

# 生物学的特性

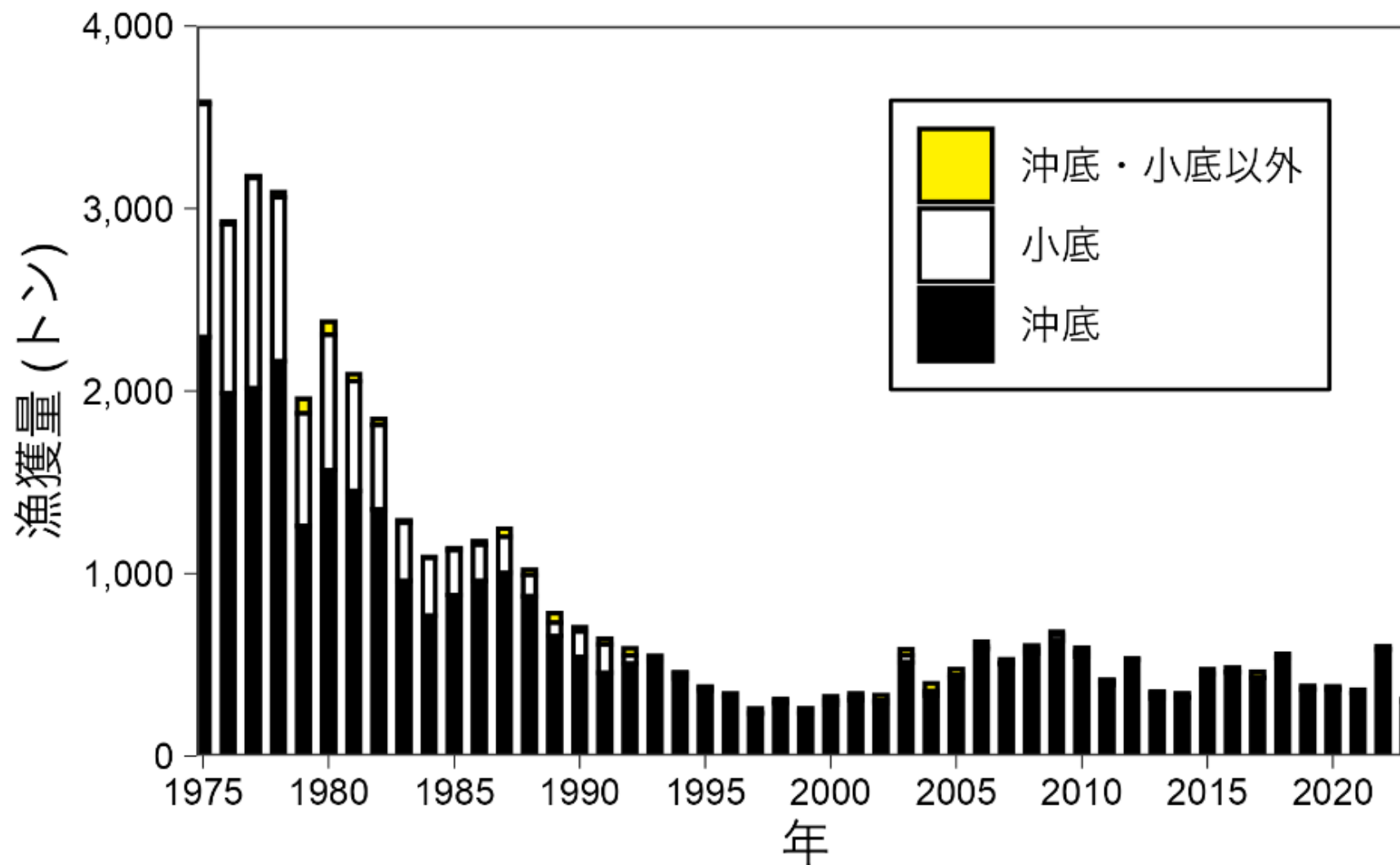


## 生物学的特性

- 寿命: 20歳程度
- 成熟開始年齢:  
雄5歳(100%) 雌10歳(11%)、  
12歳(69%)、16歳(100%)
- 産卵期・産卵場:  
1~4月、分布域全体
- 食性:  
エビ類、オキアミ類、クモヒト  
デ類、端脚類、多毛類、魚類
- 捕食者: マダラ、アブラガレイ

- 太平洋北部では水深350~1,300m付近の深海域に生息し、水深500~800mの分布密度が最も高い

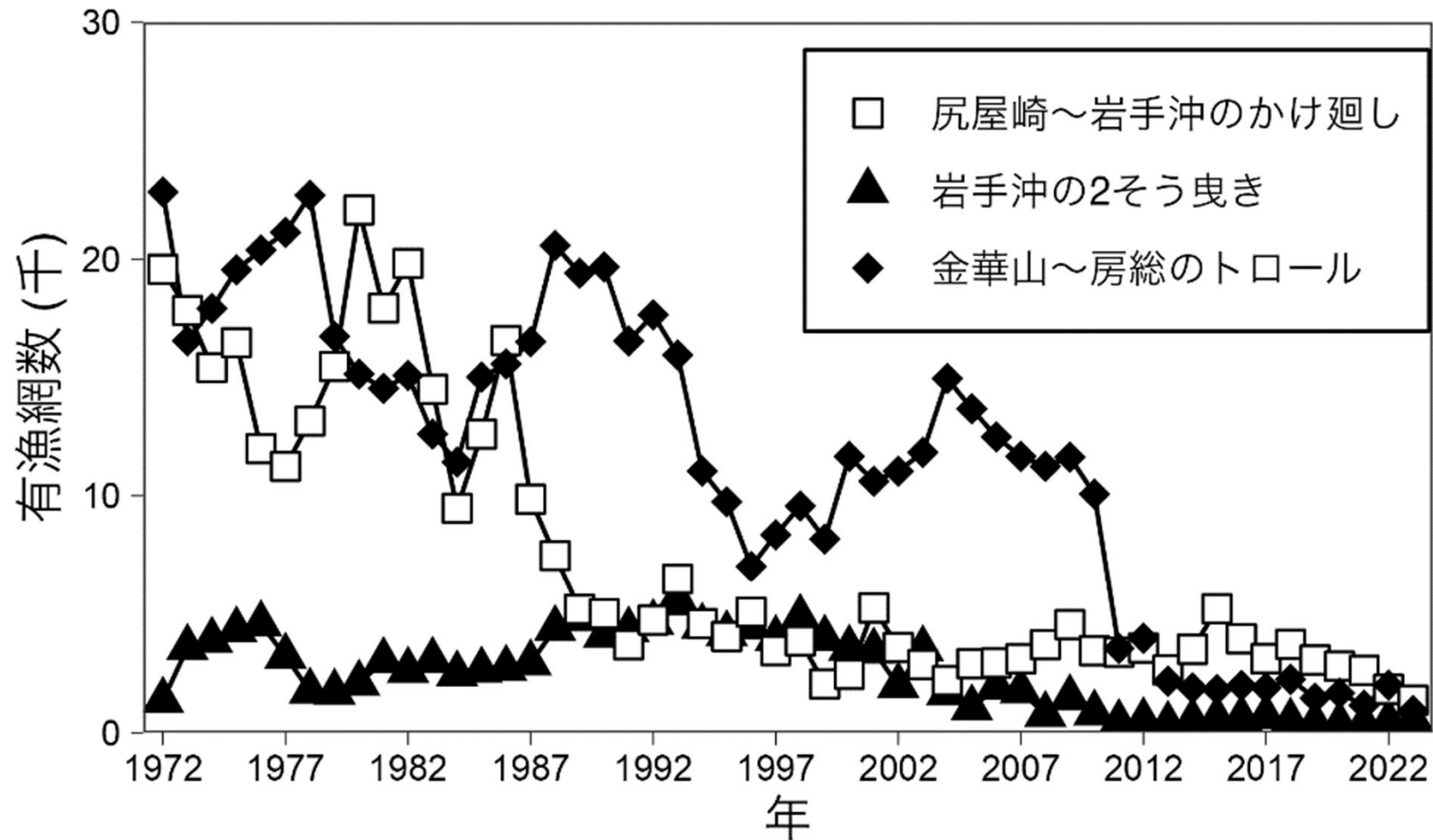
# 漁獲の動向①



- 2023年の漁獲量：313トン
- 沖合底びき網漁業（沖底）の割合が高い

※小型底びき網漁業（小底）

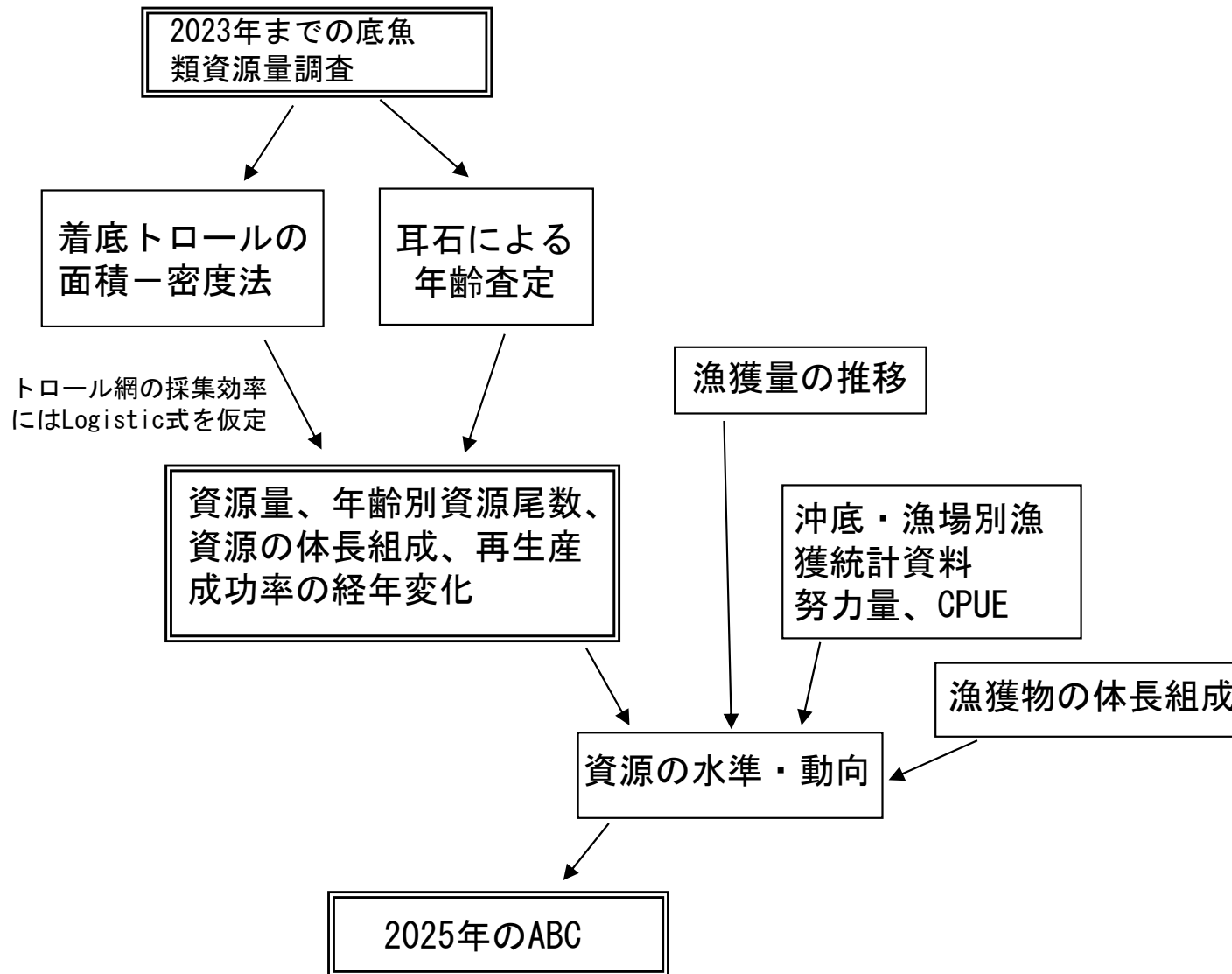
## 漁獲の動向②



- 近年の沖底各漁法の有漁網数は、過去の有漁網数と比較してすべての漁法で低い水準にある

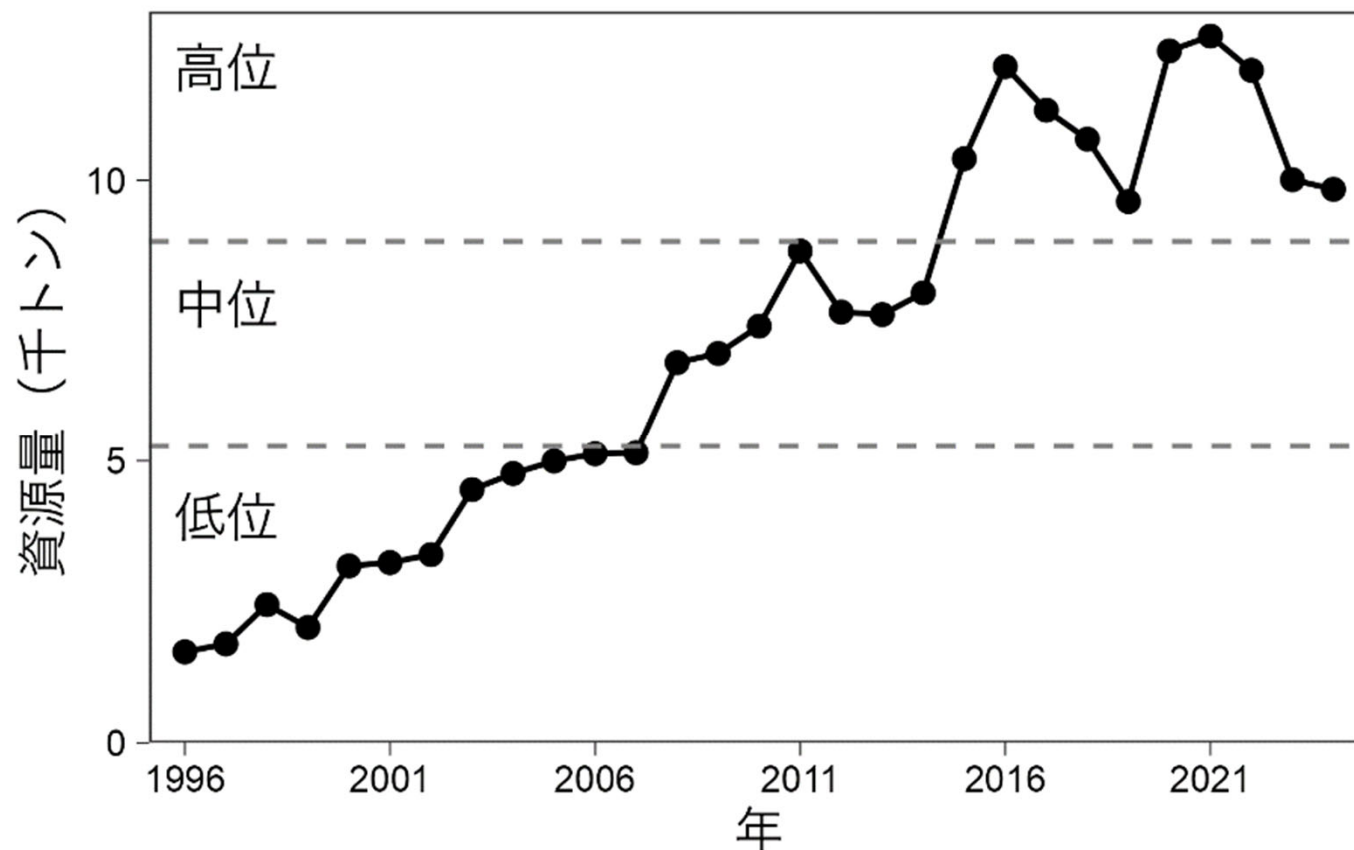
※有漁網数（キチジが漁獲された日の網数を漁船ごとに集計したもの）

# 資源評価の流れ



※ ABCは漁業法改正前の考え方に基づく基本規則を適用した値

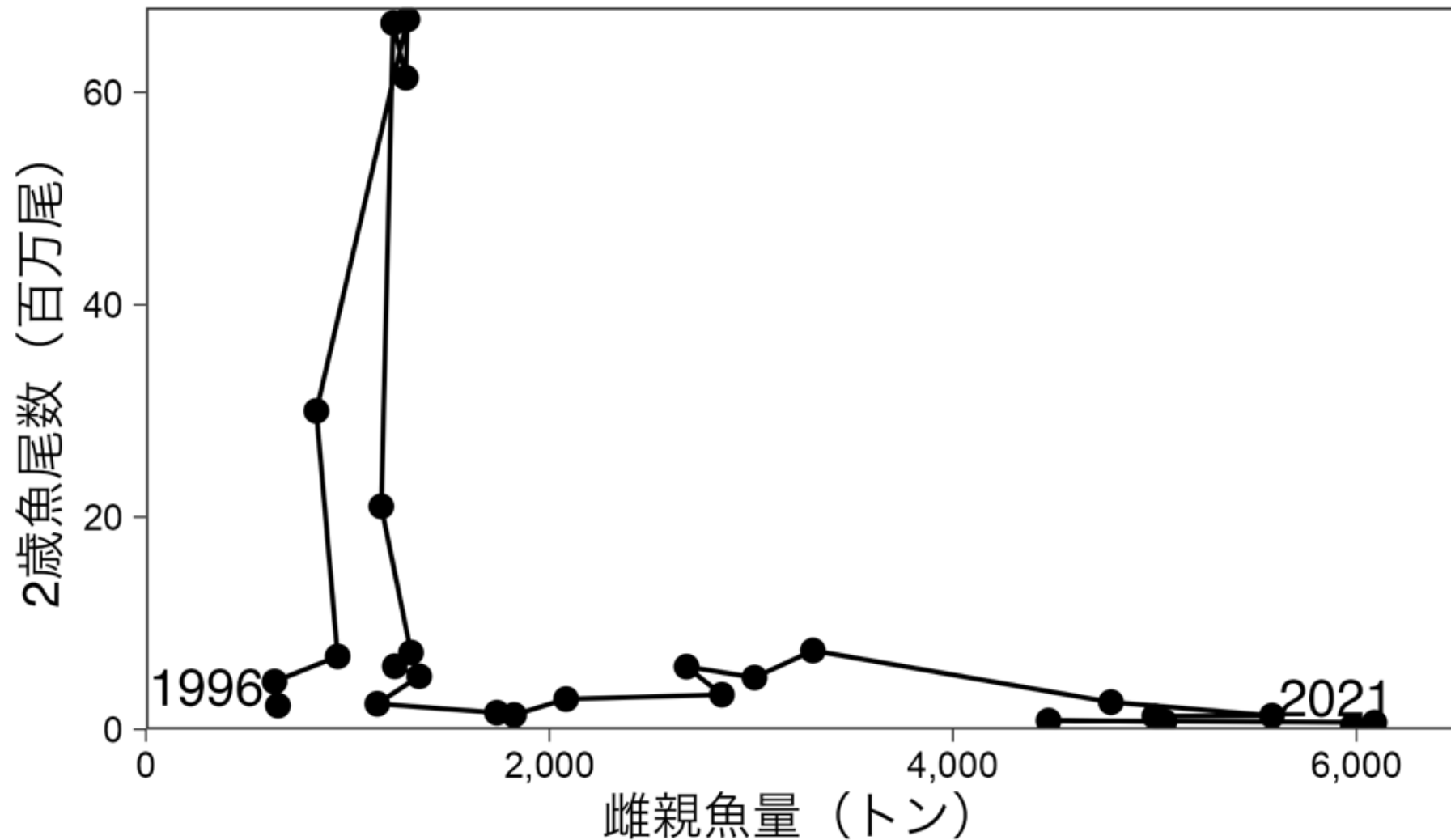
# 資源の動向①



※水準区分 低位／中位：資源量5,262トン、中位／高位：資源量8,912トン  
(1996～2024年の資源量の最小値1,611トンと最大値12,563トンの間を3等分して判断)

- 資源量：9,840トン（2024年1月時点）
- 資源水準：「高位」
- 資源動向：「減少」（直近5年間（2020～2024年）の資源量の推移より）

## 資源の動向②



- 親魚量と加入量に明瞭な関係はない
- 2004年級群以降、親魚量が多い一方、加入量は少ない

# 資源評価のまとめ

- 面積密度法で資源量を推定
- 資源水準は「高位」、動向は「減少」

## 2025年ABC

管理基準	Target/ Limit	2025年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
1.0F40%SPR	Target	360	4.2	0.047 (+18%)
	Limit	450	5.3	0.058 (+45%)

- 漁業法改正前の考え方に基づく基本規則の1-3)-(2)に基づき、  
F<sub>limit</sub>=1.0F40%SPRで計算
- F40%SPR : 漁獲がなかった場合の40%の親魚量を取り残す漁獲圧